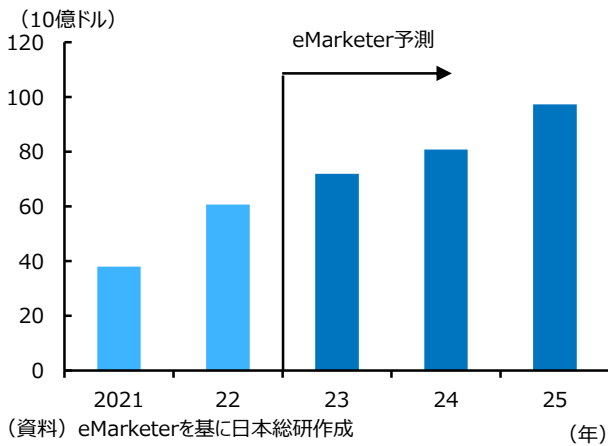


米国、後払い決済の延滞増が消費下押しに

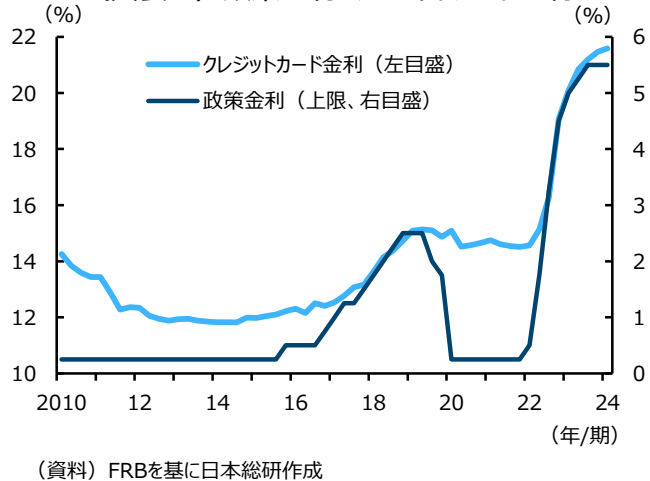
— 信用力が低い層の4割が同決済を利用 —

- (1) 米国では、後払い決済 (Buy Now Pay Later : BNPL) の利用が増加。BNPLはクレジットカードと異なり、原則として分割払い時に利息などの手数料がかからないほか、厳格な審査を必要としないことから、若年層を中心に普及。市場規模は800億ドルへと近年拡大しており、消費者の2割程度が利用経験あり (図表1)。FRBによる利上げを受けてクレジットカードの金利が上昇するなか、BNPLの利用拡大が足元の堅調な個人消費の一因に (図表2)。
- (2) もっとも、BNPLの増加が先々の個人消費を押し下げるリスクに注意が必要。BNPLの利用者は若年層や信用力の低い消費者が多く、支払い能力を超えて消費しているケースも少なくない模様。信用状況別では、最も信用力が低い層の4割がBNPLを利用 (図表3)。足元では、クレジットカードの債務残高が増加しているほか、若年層を中心に延滞率が上昇 (図表4)。若年層の利用が多いBNPLでも、今後、支払いの遅延や延滞が増加する可能性大。
- (3) BNPLに関する規制が未整備であることも懸念材料。信用調査機関にBNPLに関する信用情報が共有されておらず、金融機関が借り手の負債状況を正確に把握できないため、金融機関が貸出態度を厳格化し、消費を下押し可能性も。

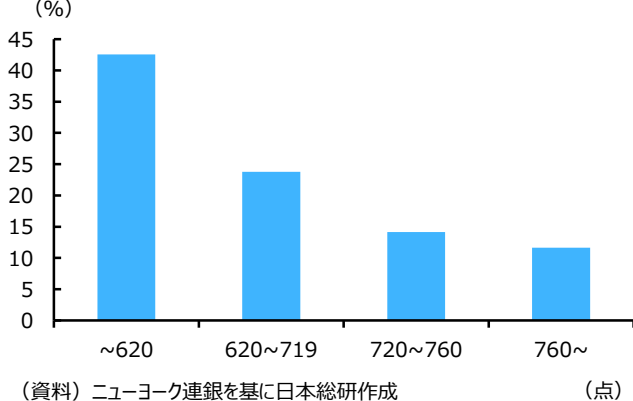
(図表1) 米国のBNPL市場規模



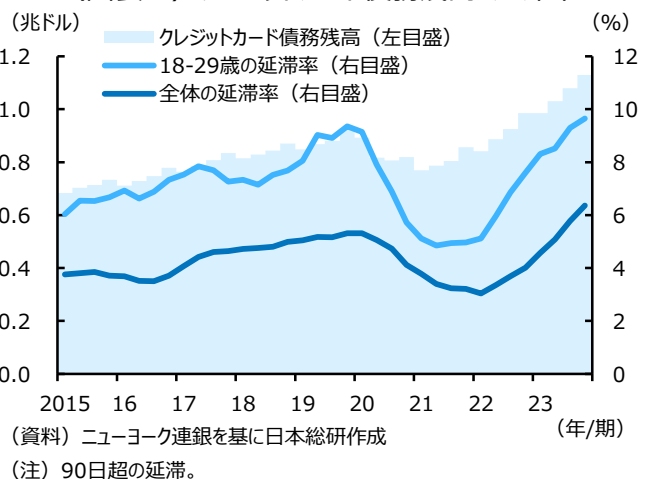
(図表2) 政策金利とクレジットカード金利



(図表3) クレジットスコア別 過去1年間でBNPLを利用したことがある人の割合



(図表4) クレジットカード債務残高と延滞率



【ご照会先】調査部 研究員 立石宗一郎 (tateishi.soichiro@jri.co.jp, 080-7148-9374)

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来るとされる資料に基づいて作成されたもので、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたった取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。